

【E S D学習支援活動】

奈良市立鼓阪北小学校 野外活動 支援報告書

社会科教育専修 学部1回生 仲村幸奈

1. 実施日 平成29年10月5日（木）～6日（金） ※支援は10月5日（木）のみ
2. 場 所 奈良市青少年野外活動センター（奈良市阪原町25-1）
3. 参加者 英語教育専修 学部4回生 谷垣徹
社会科教育専修 学部1回生 仲村幸奈
英語教育専修 学部1回生 櫛乃里花
奈良市立鼓阪北小学校 第5学年児童、教員

4. 活動支援内容

平成29年10月5日（木）、奈良市青少年野外活動センターにおいて、奈良市立鼓阪北小学校第5学年の野外活動が行われた。本学学生は、歌やスタンプの事前指導、当日のキャンプファイヤーの補助などを行った。

今回の野外活動支援を通して、以下の2点について考えた。第1に事前指導の重要性について、第2に今回の支援での初めての経験についてである。

第1に、事前指導の重要性についてである。事前指導に2回行くことで、当日より前から児童と関わることができた。キャンプファイヤーでの進行やゲーム内容を考える際、事前指導で知ることができた児童同士の様子や雰囲気は、より良いものを作るためにとても重要な情報になったと感じている。例えば今回の小学校では、男女間での接触行為が懸念されていた。このような情報を知っていたことで、接触のあるゲームを避けて選ぶなどと対策を行うことができた。また、先生たちとの関わりにおいても、情報を得る、信頼関係築くという点で、事前指導は重要だと感じた。



キャンプファイヤーの様子

第2に、今回の支援での初めての経験についてである。今回の支援では、櫛さんが初めてのエールマスターを担当、私はキャンプファイヤーの中で初めて2回ゲームを行うなどと、1回生が初めての経験を多くさせていただく機会となった。頭で描いている予定と、実際に行う経験は全く違う。今回の支援を通して、成長するためには何よりも経験が大切だと強く感じた。経験し知ること

で、問題点・改善策が生まれ、次回に繋げることができる。まだまだ経験が乏しいが、予定通りに進まない場面などの時間の調整といった突然の出来事に対しても柔軟に対応できるよう、できることを増やし、より成長していきたい。

以上より、今回の野外活動支援は私たち自身が経験し、学べる場所であったと感じた。また児童の楽しそうな顔、その後の先生たちからの感謝の言葉を聞くと、とてもやりがいのあるものと感じた。その都度、学んだことをしっかりと吸収し、次回に繋げていきたい。



キャンプファイヤー後の振り返り